

## 2022年6月1日～2022年12月31日の間に福山市民病院救命救急センターICU入室となった方へ

—「救命救急センターICUでの持参薬鑑別における保険薬局の情報の有用性について」へご協力をお願い—

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は、当院倫理審査委員会において倫理的および科学的に問題がないか審査を行い承認され、院長の許可を得ています。ご理解とご協力をお願いいたします。

研究機関名 福山市民病院 薬剤科  
研究責任者 福山市民病院 薬剤科 薬剤師 前原 健司

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

救命救急センターICU（以下、ICU）入室患者の多くは重症病態を原因とする意識障害や鎮静薬投与中のため、本人への面談による服用薬の確認ができる機会はほとんどありません。ICU専任薬剤師は持参薬確認の際に調剤元の保険薬局等が探知できた場合には照会を行うこととしています。そこで保険薬局等から得られた情報が、治療に与える影響を調査・研究します。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

ICU専任薬剤師が照会している、保険薬局等の把握している情報が治療に与える影響を明らかにすることにより、情報収集の効率が向上すると考えています。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2022年6月1日から2022年12月31日までにICUに入室となった方を対象とします。

#### 2) 研究期間

2023年6月26日～2023年7月29日

#### 3) 研究方法

2022年6月1日から2022年12月31日までにICUに入室となった方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、持参薬鑑別における保険薬局から得られる情報に関する分析を行い、治療に与える影響について調べます。

#### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、研究用の番号をつけて、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・患者基本情報：年齢、性別、診断名
- ・保険薬局から得られた調剤歴、服薬コンプライアンス、副作用歴、アレルギー歴、検査値
- ・保険薬局から得られた情報と一次資料から得られた情報との相違点
- ・保険薬局から得られた情報と医師が初療時に把握した情報との相違点

#### 5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、福山市民病院薬剤科で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、福山市民病院ホームページに掲載してお知らせします。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年7月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 薬剤科 前原 健司  
電話：084-941-5151（代表）